

お互いさま

otagaaisama

恵みあい、助けあう

理事長より新年のご挨拶

特集

ユマニチュード 全事業所への広まり

やさしさを伝え幸せな関係を築く
ユマニチュードを全事業所へ

キラキラ働き人

特別養護老人ホーム よなご幸朋苑 ト テイ フエンさん

特別養護老人ホーム なんぶ幸朋苑 大野 淑恵さん

2026 January

季刊誌（年4回発行）

NO. 19



社会福祉法人 こうほうえん

2026 新年のご挨拶 組織文化の醸成に向け 地道に歩む

2026年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を
申し述べ、ご挨拶に変えさせていただきます。



社会福祉法人こうほうえん
理事長 廣江 晃

組織として求める ユマニチュードの「人間性」

2025年は、新しい中期経営計画の4つの目標を柱として事業を進めてまいりました。その一つ目が、「ユマニチュードによるお互いを尊重する組織文化づくり」です。ユマニチュードは「人間らしさ」や「人間性」の意味を持つフランス語の造語で、認知症のコミュニケーション・ケア技法です。われわれは、ケアの指標としてだけでなく職員同士や地域に対するふるまいにおいても、その「人間性」が組織に必要だと考えています。ユマニチュードが目指す「よいケア・よい生活の場」の実現に向けて、『西大井こうほうえん』に各エリアから職員を派遣して研修を行うとともに、朝礼での冊子の読み合わせなどを実施



ユマニチュードは、人間らしさを尊重するケア。ブロンズ認証を取得した『西大井こうほうえん』で毎月研修が行われている

し、少しずつその効果が表れてきました。また、セルフチェックシートや保育園内にカメラを導入して改善点をお互いに話し合える環境づくりや、情報共有の促進や業務効率化を目指した管理業務のDXといった環境面の整備も重要だと考えています。

存在感増すグローバル人材 育成と生産性向上に取り組む

二つ目は「持続可能な福祉社会の礎を築くための人財育成介護現場」です。業界全体で介護士が不足する中で、25年秋は30名のグローバル人材を採用しました。その存在は欠かせないものであり、eラーニングの多国籍言語対応をはじめとする教育システムの整備や、多様な働き方を構築し、組織への定着や人財育成に取り組んでいます。同時に、全事業でICTやAIを活用し、現場職員の業務効率化や生産性の向上を図っていますが、今後もスピード感を持って、改善すべき点は積極的に改善して人財の確保と育成に取り組んでまいります。

また、これらの実現は、強固な経営基盤なくして成り立ちません。物価高騰の波は福祉業界にも深刻な影響を及ぼしていますが、「実証的な数値分析に基づく強固な経営基盤の構築」を三つ目



各事業所でICT活用が進む。介護記録やご利用者のリアルタイムの状況など、さまざまな情報をスマートフォン一台で把握できる

の目標に掲げ、新システムによる収支状況の把握とデータ分析など、経営力の強化に努めています。

一つひとつ真面目に取り組む 組織であり続けたい

その上で、四つ目の「長期的な視野による地域福祉の発展」では、『いなば幸朋苑』の開設30周年にあたり、地域に向けた「感謝祭」を催し、長年の感謝の気持ちを表しました。また、永江地区に子どもの居場所づくりや多世代交流の場である『あいRIN』を開設。今後も地域での広域的な活動を展開し、既存の制度やサービスが届かない、すきまにいる人や、複数分野の課題を抱えている人に対して、いかに



フィリピンやベトナムなど、さまざまな国籍のグローバル人材が活躍。そのやさしい笑顔に、ご利用者も自然と笑顔になる

すきまを埋めて支援を届けるかを考え、行動してまいります。2026年を迎えるにあたり、ユマニチュード認証を鳥取エリアの事業所も取得できるくらいに組織の文化として根付かせたいと考えていますが、そのためには業務効率化や生産性向上、働きやすい環境整備、広報活動の強化など、運営側の企業努力は欠かせません。四つの目標は密接に関係しており、目標に向かって一つひとつ、地道に取り組む組織であり続けたいと考えています。また、「地域に開かれたこうほうえん」として、客観的な視点を失わず、地域の皆様に安心・信頼していただける組織を真摯に目指してまいります。



穏やかでやさしい声のトーンで、出会いの喜びを表現する

やさしさを伝え
幸せな関係を築く
ユマニチュードを
全事業所へ

ブロンズ認証を受けて 全事業所に推進

2024年2月、『ケアホーム西大井こうほうえん』は日本で5事業所目となるユマニチュードのブロンズ認証を受けました。ユマニチュードはフランス発のコミュニケーション・ケア技法で、この認証をきっかけに、こうほうえんでは法人全体に普及する取り組みが始まっています。

ユマニチュードでは、相手を一人の人間として尊重し、その自由を認め、出会いを喜び合う心地良い人間関係を重視します。「相手の方との間合いや距離感、表情やしぐさを読み取ってコミュニケーションを取る」ことが大切です。その哲学を落とし込み、考え、実践することで身に付いていきます」と話すのは同事業所の田中施設長。心の絆が深まることで、ケアを受ける人は「自分は大切にされている」と安心感を得ることができるのです。

良い時間を過ごし関係を築く

同事業所では7年前から、ユマニチュードの教育と実践に取り組んできました。職員全員が口腔ケアを含むユマニチュードに関する研修を月2回受講し、研修で学んだことを日常のケアに落とし込んでいます。

「ユマニチュードが浸透して一番感じている変化は、定期的なトイレ誘導がなくなったことです」と話すのは、主任相談員の関さんです。関さんが入職した2017年当時は、1時間半〜2時間の間隔で声かけをしてトイレに案内し、就寝中でも起こしていました。「誰でも寝ている時に起こされるのはしんどいですよね。また、嫌なことを無理強いするのは、ご本人も、ケアする側も苦しいです」と振り返ります。現在は、ある程度の目安の時間がありますが、嫌がる人を無理に連れて行くことはありません。まずはその方と良い時間を

過ごすために会いに行くことを大切にしています。

関わる人が幸せになる 組織づくりを

介護主任の沼上さんは、前職でも介護の仕事をしていて2018年にこうほうえんに入職しました。「以前はお風呂を嫌がる人を連れて行くことが本当に大変でした。また、どのように過ごしたいかよりも事故予防が優先され、次第に『自分は何をしているのだろう』とやりがいを見失ってしまいました」

西大井こうほうえんでユマニチュードを学び、実践するうちに、沼上さんの気持ちに変化が現れました。「うま

くいくことも、失敗することもあります。考えることに意味があり、ケアを楽しいと思えるようになりました」と明るく笑います。ご利用者の中には入浴を毎回嫌がる人もいます。けれども、その方を「困った人」として無理に連れて行くのではなく、意思を認め、どのようにすればその方が受け入れて「今日は良い日だ」と思ってもらえるか、そして職員自身も辛くない方法を職場全体で協力して考えています。「何でも言い合える空気があり、隙間時間を利用した職員間のコミュニケーションが増えました」と沼上さん。田中施設長は「組織として継続して教育を受けさせ、

浸透させることで、新人でも言語化できるようになります。さらに仕事に楽しさと誇りを持てるようになり、ここ数年の離職者はゼロです」と職員や組織へのメリットを話します。こうした成果を受けて、2025年から事業所ごとにユマニチュード推進のリーダーを選。選ばれた職員が代表してケアホーム西大井こうほうえんで「ユマニチュードインターン研修」を受講し、3日間かけて実際のケアを間近で学び、各事業所に持ち帰って落とし込んでいきます。この取り組みにより、ご利用者やご家族はもちろん関わる人すべてが幸福を感じられるこうほうえんを目指しています。

ユマニチュードとは

フランス発祥のケアの技法。「見る」「話す」「触れる」「立つ」を「ケアの4つの柱」とし、ケアを物語のように一連の手順で完成させる「ケアの5つのステップ」で構成されるケア・コミュニケーション技法を用います。5つのステップは①出会いの準備 ②ケアの準備 ③知覚の連結 ④感情の固定 ⑤再開の約束 となり、いずれのステップも4つの柱を組み合わせます。言語・非言語メッセージを双方向に交わし合うコミュニケーションによって、「あなたを大切に思っている」ということを相手に伝え、ケアをする人とケアを受ける人とが良好な関係を築くことをケアの目的としています。

ユマニチュードインターン研修



ユマニチュードの考え方を理解し、実際のケア現場でその在り方を体感しながら学ぶ

各エリアから毎月3〜4名ずつ職員を順番に『西大井こうほうえん』に派遣して3日間の実技研修を実施。実際のケアを間近で見て学び、各勤務地に持ち帰って実践・普及しています。



いなばエリア
石上 純子さん

ケアホーム西大井での研修参加を経て、改めて「ケアとは？」を立ち止まって考える良い機会となりました。

参加者の声



さかいエリア
池淵 美香さん

3日間研修は「目から鱗」の連続。常に哲学を念頭に置いて、目の前のケアを考える続けることの大切さを学びました。

ユマニチュード認証制度とは



ユマニチュードを通じて質の高いケアを実践している組織を、明確な評価基準を元に評価・育成・支援し、誰もがお互いの自律を尊重し、幸せに過ごせる社会の実現に寄与することを目的として誕生。「ブロンズ」「シルバー」「ゴールド(国際認証)」の3段階があります。

お話を聞いた人



(左から)
ケアホーム西大井こうほうえん
介護主任 沼上 久美子さん(2018年入職)
施設長 田中 とも江さん(2008年入職)
主任相談員 関 大吉さん(2017年入職)



プロフィール



特別養護老人ホーム なんぶ幸朋苑

おおの としえ
大野 淑恵さん

看護師として米子市内の病院に勤務し、2003年にこうほうえんに入職。『よなご幸朋苑』などの米子エリアの事業所を経て、現在は『なんぶ幸朋苑』で看護係を務める。

＼ 大野 淑恵さんが働く ／

特別養護老人ホーム なんぶ幸朋苑とは？

『ヘルスケアタウンよなごみなみ』エリア内の特別養護老人ホーム。ご利用者がいつまでも笑顔で過ごせるように、季節の行事やイベントを行い、地域の方とも深く交流しています。

なんぶ
幸朋苑
Instagram



＼ ト ティ フエンさんが働く ／

特別養護老人ホーム よなご幸朋苑とは？

米子市中心部の『ヘルスケアタウンよなご』内の特別養護老人ホーム。全室個室ユニット型施設での家庭的なケアを提供し、ベトナムやインドネシアのグローバル人材が活躍中。

よなご
幸朋苑
Instagram



プロフィール



特別養護老人ホーム よなご幸朋苑

To Thi Huyen(ト ティ フエン)さん

ベトナム出身、2022年来日。『特別養護老人ホームよなご幸朋苑』に入職。『第15回AJCC』では、法人内で米子エリア唯一、外国人介護分野Bに出場。

ご利用者と職員の 安心できる存在でありたい

**最初は戸惑った病院と
介護施設の看護の違い**

こうほうえんで働く以前は、米子市内の総合病院に勤務していました。内科や整形外科など、さまざまな診療科で経験を積みましたが、家族のことを考えて夜勤のない勤務先を探していた時に、知人の看護師から紹介されたのが、こうほうえんです。「病院と介護施設の看護は違う」と聞いて興味を持ち、2003年に入職しました。

病院はケガや病気の治療を目的としています。介護施設は生活の場であり、予防の視点が求められます。ご利用者の小さな変化に気づけるように、常にアンテナを張り、介護士をはじめ多職種と連携して対策を行います。最初はその違いや、施設のゆつたりとした時間の流れにも体が慣れず、さらに100名以上のご利用者の名前と顔を覚えるのは大変でした。そんな風に不安を感じていたものの、あつと言う間に20年以上も経っていて、「本当にご縁があったんだな」と私自身も驚いています。

**初心を忘れず地道に
歩み続けたい**

これまでの勤務地は特別養護老人ホームが多かったのですが、行事などでご利用者の新たな一面を見ると、

AJCC出場で得た学びを 今後のケアに生かしたい

多くの収穫があったAJCC出場

今大会には外国人介護分野Bで出場し、課題の排洩で実技を披露しました。日本語の言葉遣いは難しく、普段は話すスピードが速くなりがちなので、大きな声でゆっくり確実に伝えることを意識しました。大会に向けて

**ふるさとに似た鳥取で
ご利用者と接することが楽しい**

ベトナムのふるさとは、首都・ハノイから2時間の田舎町で鳥取と雰囲気似ています。実家では祖父母と二緒に暮らしていたのでお年寄りと接することが好きで、介護の仕事がしたいと2022年来日して『よなご幸朋苑』に入職しました。ご利用者のおじいさんおばあさんと触れ合うとふるさとを思い出し、毎日お話しすることが楽しいです。

主任と何度も練習を重ね、先輩方もアドバイスをしてくれたので、とても緊張しましたが精一杯がんばれたと思います。また、他法人の外国人介護士と交流できて楽しかったですし、「こういう声かけもあるんだ」と気づきを得ることもできました。

AJCCへの出場は、普段の自分の声かけやケアを見直す良いきっかけになりました。ご利用者一人ひとりに合ったコミュニケーション方法を見つけて実践することや、ケアを通じてその方を知ることの大切さを感じています。今回の経験を普段のケアに生かすとともに、目標の介護福祉士の資格取得に向けてがんばりたいです。



「第15回AJCC」実技の様子



宝物を発見したようで嬉しくなります。現在は、『なんぶ幸朋苑』で看護係長を務めています。ご利用者はもちろん職員の健康管理に気を配ることも仕事の一つです。そのためにも対話はとても大切であり、ご利用者や職員にとって安心できる存在でありたいと思っています。

長年、こうほうえんで働くことができたのは、今の仕事が好きことや、人に恵まれたこと、また、資格や研修などの学びの機会を多く設けてくれたからだと思っています。鳥取県社会福祉協議会会長表彰という賞までいただき、改めて、初心と好奇心を忘れずに一歩一歩、地道にご利用者や職員と向き合っていきたいです。

2025年10月4日、「第15回オールジャパンケアコンテスト」が昨年に引き続き東京ビッグサイト西3ホール(東京都江東区有明)にて開催されました。オールジャパンケアコンテストは、「家族、地域とそれぞれの密接なつながり「絆」を大切に」を理念に、2010年の開始から多くの方のご協力を得ながら今回で15回目を迎えました。全国から集まった選手の皆さん(介護従事者)、地域の方、介護サービスご利用者やそのご家族など介護に携わる方々と一緒に、これまでの介護を見つめ直し、これからの介護を考え実践する機会を提供することを目的としています。主管は『社会福祉法人こうほうえん』、『公益社団法人日本介護福祉士会』、『SOMPOケア株式会社』、『株式会社やさしい手』、『東京ロイヤル株式会社』、『社会福祉法人長岡福祉協会』が務めました。大会前日には前夜祭を東京ベイ有明ワシントンホテルにて開催。オリエンテーションを兼ねて、参加される選手の皆さんが分野ごとに分かれ、アドバイザーの先生方と一緒に食事を取りながら親睦を深めていただきました。

コンテスト当日には、全国から多くの選手、関係者、一般来場者など約1000名が集まり、会場は終始熱気に包まれていました。実行委員会の廣江研会長からは、「日頃の成果を存分に発揮し、その技術をと共に集まった仲間と共有し、学びの場として活用していただきたい。頑張ってください」と、力強い激励の言葉がありました。

会場での実技部門では、147名の選手が「認知症」「看取り」「食事」「入浴」「排泄」「口腔ケア」「外国人介護職員」の7分野に分かれ、それぞれの課題に応じた介護技能を披露しました。実技には専門のアドバイザーが助言・評価を行い、技術向上の機会となりました。また、動画投稿部門では、介護福祉士等の養成校の学生を対象に実施され、全国から高校の部4校(17名)、養成校の部4校(18名)による投稿がありました。大会当日は休日だったことで一般の来場もあり、昨年以上に選手の皆さんの情熱と観客の皆さんの声援を大きく感じられた大会になりました。

詳細につきましては下記の「第15回オールジャパンケアコンテスト」HPをご参照ください。 <https://ajcc.info/>

「第15回AJCC」
公式HP



Instagram



集合写真



会場の東京ビッグサイト(江東区有明)



前夜祭会場の東京ベイ有明
ワシントンホテル(江東区有明)



【看取り部門B】石井美優 介護士
(うきま特養)の実技場面

寄付者 一覧

※2025年9～11月にご寄付をいただいた皆さま

寄付金合計額:1,111,000円

心温まるご寄付を賜り、深くお礼申し上げます。皆様から賜ったご寄付は、ご厚志に沿い「地域貢献事業」として使わせていただいております。

- 有限会社パイプフレンド様/130,000円 ●有限会社ワイビーエム様/200,000円 ●株式会社さんいれフーズ様/10,000円 ●鳥取ガス株式会社様/10,000円 ●河口電器産業株式会社様/50,000円
- 株式会社BANG様/80,000円 ●田中泰明様/3,000円 ●その他/628,000円 <北東京エリア>●アクティブコーポレーション様/クリスマスカード全園児分 <西東京エリア>●卒園児/玩具、絵本
- 株式会社ノンビ様/飲料(2L×36)、袋菓子(120袋) ●フレーベル館様/おもちゃ用景品(紙芝居45セット)、マスク、マスクケース、乳児向け玩具 ●株式会社メイト様/おもちゃ用景品(絵本30冊弱)
- JKK様/おもちゃ用景品(マスクケース、シール等)

ボランティア 一覧

貴重な時間をいただき、厚くお礼申し上げます ※2025年9～11月にボランティアにご参加いただいた皆さま

- <さかいエリア>●歌・演奏…角ファミリーバンド6名 ●傾聴…境港市ことぶき会8名 ●習字・歌・体操…日赤奉仕団5名 ●eスポーツ(ゲーム)…境港総合技術高校eスポーツ部15名
- マジックショー…米子マジック同好会2名 ●紙芝居・歌・演奏…紙芝居の会4名 ●アロマハンドマッサージ…田村貴子様 ●歌や読み聞かせ…朗読なごさ会6名 ●歌・体操…吉永様
- 秋祭りの模擬店のお手伝い…15名 <よなごエリア>●生け花教室…野本様 ●ハンドマッサージ…山崎様 他1名 ●健康体操・脳トレーニング・おやつ作り…遠藤様 ●よなご幸福苑秋祭りステージ披露…
- YMCA医療福祉専門学校8名、境港大漁太鼓10名、境港総合技術高校7名 <なんぶエリア>●カフェ補助…勝部尚子様、桑田千恵様、仲田みどり様、佐藤陽子様、西山直子様、石田喜和子様、育木ルミ子様、
- 梅本恭美様、足羽恵美子様、尾原稔枝様 ●読み聞かせ・軽作業・手作業・子どもの見守り…秋鹿美美子様 ●ハーモニカ・尺八演奏…恩崎弘美様 他1名 ●生け花…青木明子様 ●フルーツ演奏…YYフルート
- (川上淑子様、石賀葉子様) ●ハーモニカ演奏…中合みちる様 他1名 ●音楽療法…ストロベリーカルテット4名 ●唱…UTA米子高校唱同好会8名 ●食堂…松井良子様、松本朱美様、谷口早苗様、河野登美子様、
- 中田玲子様、大島美紀子様、角千春様 ●子どもの見守り…生田かなよ様、大島美紀子様、稲田順子様、須山幸子様、大谷幸子様、井上幸子様、角千春様 <いなばエリア>●慰問…地域教会2名 ●ハーモニカ演奏…
- 4名 ●囲碁・将棋…1名 ●ミュージックケア…1名 ●オレンジガーデンプログラム…湖陵高校10名 <北東京エリア>●軽作業・傾聴・レクリエーションフォロー…桐ヶ丘高校3名、渡邊様、加藤様、池間様、根岸様
- 傾聴…帝京大学(看護)10名、東洋大学2名 ●美容レクリエーション…介護美容研究所15名 ●制作活動(ボールペン・ネックレス)…雅様3名 ●制作活動(コースター)…しおん様2名 ●書道教室…小林様
- ネイル施術…池田様 ●三味線…職員知人8名 ●リトミック、わらべうた(子育て支援)…守岡様 ●フラダンス…職員知人10名 ●賞品梱包…内田様 他1名 ●読み聞かせ…石井恵美様(北区絵本サロン講師)
- コンサート…施設職員5名 ●アートセラピー…職員知人3名 ●人形衣装作成・提供…北村様 <西東京エリア>●かけはしまつりボランティア…帝京大学(看護学科)3名、日大豊山高校3名、目白大学1名、
- 東京家政大学1名、日本児童教育専門学校1名、JKK 篠崎様 <南東京エリア>●調理・コミュニケーション…若林様 ●調理・コミュニケーション・買い物同行…申様 ●イベント手伝い…樹田様、谷崎様
- イベント手伝い・コミュニケーション・体操レクリエーション…大高様 ●朗読の会…奥野様 他4名 ●吹奏楽演奏…市川様 他7名 ●アルトサックス演奏…安達様 他3名 ●ピアノ演奏…臼井様
- 三味線演奏…黒須様 ●バイオリン演奏…池谷様 ●落語・コカリナ…萩野谷様 ●ジャズコンサート…キャトル4名 ●コンサート…ハートフル4名 ●ハンドマッサージ…プラチナ美容塾11名
- 誰でも食堂…徳永けいこ様 ●絵本の読み聞かせ…大井図書館2名 ●保育補助…職場体験(伊藤学園中学2年生)4名



法人本部事務局

〒683-0853

鳥取県米子市両三柳1400

TEL:0859-24-3111 FAX:0859-24-3113

フリーダイヤル:0120-418-658

E-mail:welfare@kohoen.jp

東京事業本部

〒140-0015

東京都品川区西大井2-5-21 ケアホーム西大井こうほうえん内

TEL:03-6410-7365 FAX:03-6410-7364



2014年度日本経営品質賞大規模部門
(鳥取地区/介護)受賞



こうほうえんはISO9001-2015
(品質マネジメントシステムの国際規格)を
認証取得しています



こうほうえんは
社会福祉法人として初めて
おもてなし経営企業に選定されました



こうほうえんは
社会福祉法人として初めて
ハイサービス日本300選に選定されました

詳しくはHPへ



こうほうえん 検索

<https://www.kohoen.jp>